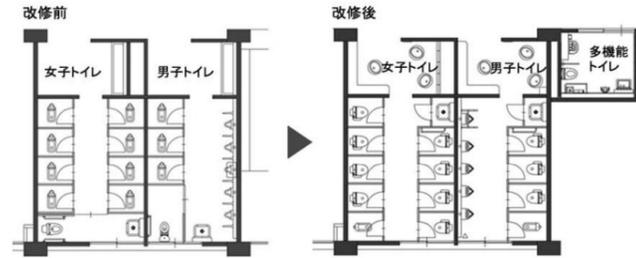


一身田小学校 トイレ図面

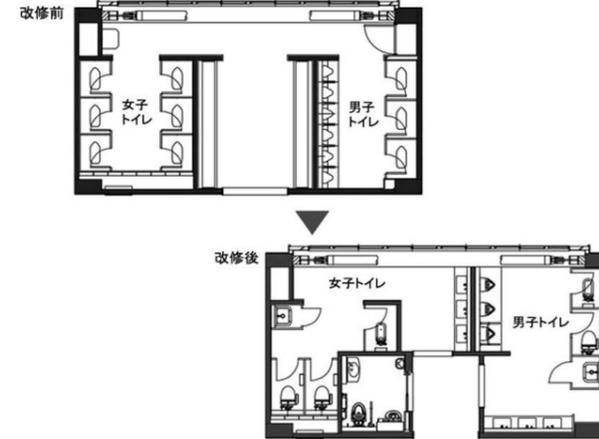


一身田小学校 改修前トイレ



薄暗かった改修前のトイレ。
清掃方法が湿式清掃で水がかかるため、ドアの下のほうが傷んでしまい、つぎはぎだらけの状態だった。

片田小学校 トイレ図面



片田小学校 改修前トイレ



改修前のトイレは、子どもが怖がる暗い雰囲気。
すべて和式便器で、苦手な子どもたちの中には、トイレを我慢するという問題も生じていた。

一身田小学校 洗面コーナー



洗面器をまるいアイランド型にレイアウトした楽しい雰囲気の洗面コーナー。
水栓金具は止め忘れをなくすために自動水栓を採用。
ベンチは荷物置きや生徒同士のおしゃべりの場として活用されている。

一身田小学校 男子トイレ 小便器コーナー



明るい外光を取り入れたトイレ空間。
尿石の付着やにおいの発生を抑制する「ジアテクト機能」を搭載した自動洗浄小便器を採用している。

片田小学校 男子トイレ 全体



環境への配慮として、水栓金具は止め忘れがない自動水栓、大便器は津市立小学校基本仕様の6L洗浄の節水便器、照明器具は節電効果のある人感センサー式を採用している。

片田小学校 多機能トイレ



地域の方も使用するため、車いす使用者やオストメイト、小さなお子様連れなど、さまざまな使用者を想定して、オストメイト対応トイレバックやベビーチェアを設置している。

一身田小学校 男子トイレ 大便器ブース



津市では、すべての小学校において洋式便器にウォシュレット設置を標準仕様としている。1ヶ所設けられている和式便器の床には、においや汚れを軽減するハイドロセラフロアを設置。

一身田小学校 体育館 多機能トイレ



災害避難時など、地域の方も使用するため、車いす使用者やオストメイト、小さなお子様連れなど、さまざまな使用者を想定して、オストメイト対応トイレバックやベビーチェアを設置している。

建築概要

名称	津市立一身田小学校・片田小学校
所在地	三重県津市一身田大古曾355(一身田小学校) 三重県津市片田井戸町22(片田小学校)
施主	三重県津市
設計	U建築設計(一身田小学校) 重企建築事務所(片田小学校)
施工	日本土建株式会社(一身田小学校) ジェイエイ津安芸(片田小学校)
竣工年月	(改修)2013年10月

水まわりの特長

<改修の経緯>

三重県津市では、小・中学校のトイレの洋式化による学校環境の向上を目指して2012年8月に『トイレ快適化計画』を策定。築年数に関わらず、洋式便器の設置比率が1割未満の学校から順次改修を進めている。
トイレの改修に当たっては、「大便器の洋式化」「衛生面を考えた床のドライ化」「障がい児に配慮した段差の解消や手すりの設置」という3つの柱をメインに、小便器の自動洗浄化と手洗器の自動水栓化を推進している。
なおトイレのレイアウトプランは、学校ごとに2つのプランを作成し、子どもたちが選定するという仕組みを実施。今後2017年度までに、小学校18校・中学校7校の改修工事を実施する予定。

<トイレの特長>

最近、一般家庭ではウォシュレットの設置が当たり前になってきていることや、特に小学校の低学年においては和式便器が苦手な子どもたちが、トイレに行くのを我慢するという深刻な問題も起きているため、津市ではトイレ改修の際、すべての小・中学校の和式便器を洋式便器に変更し、ウォシュレットを設置している(和式便器は1ヶ所のみ設置)。
トイレ改修後、PTAや地域の方々などから喜びの声が上がってきている。